

北海道の電力事情・生活者意識に関する アンケート調査レポート

2026年6月実施／クラシエルジュ編集部

調査方法	Webアンケート
調査時期	2026年6月
調査対象	北海道在住の方
調査人数	300名
調査主体	クラシエルジュ編集部

調査サマリー

92.7%

電気代が「高くなった」と実感

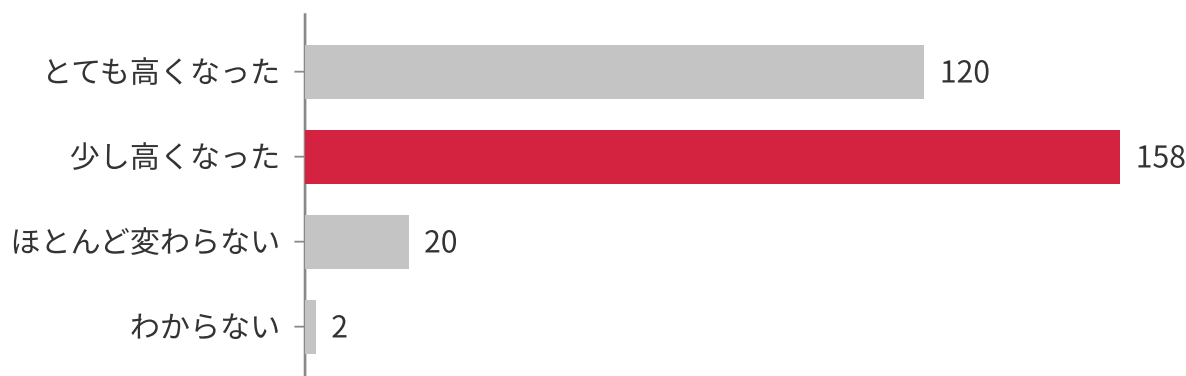
88.7%

今の電気料金を
「高い」「高すぎる」と回答

89.0%

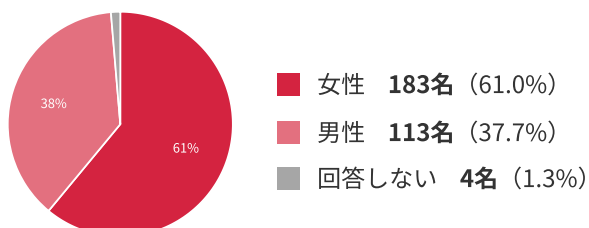
新電力等の契約者の満足度
(北海道電力は67.5%)

電気代が高くなったと感じるか

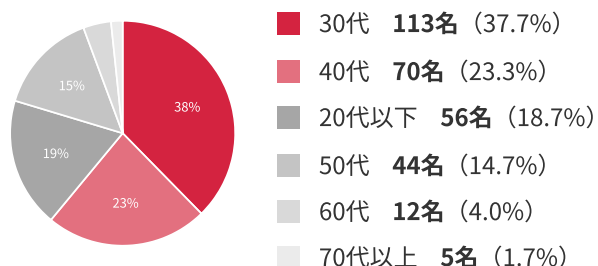


回答者の属性

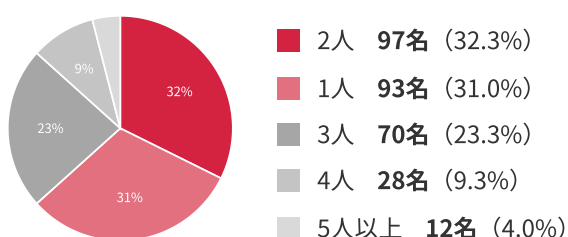
Q1. 性別



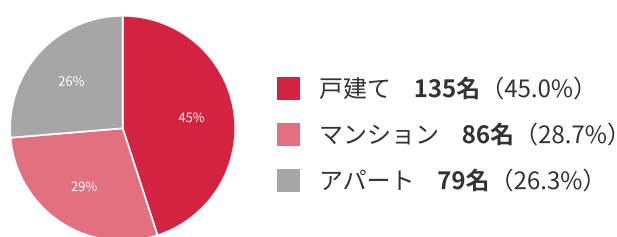
Q2. 年齢



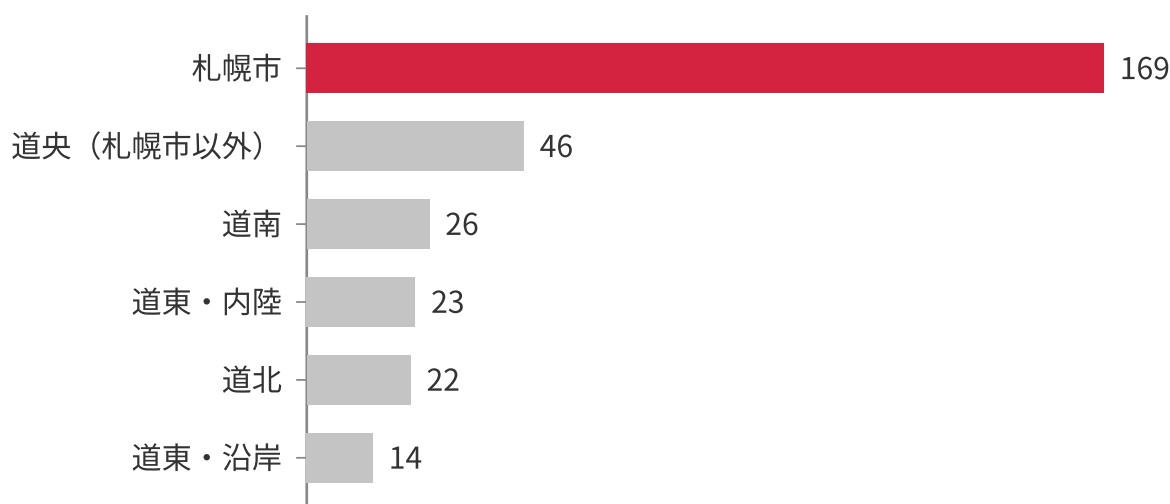
Q4. 世帯人数



Q5. 住居タイプ



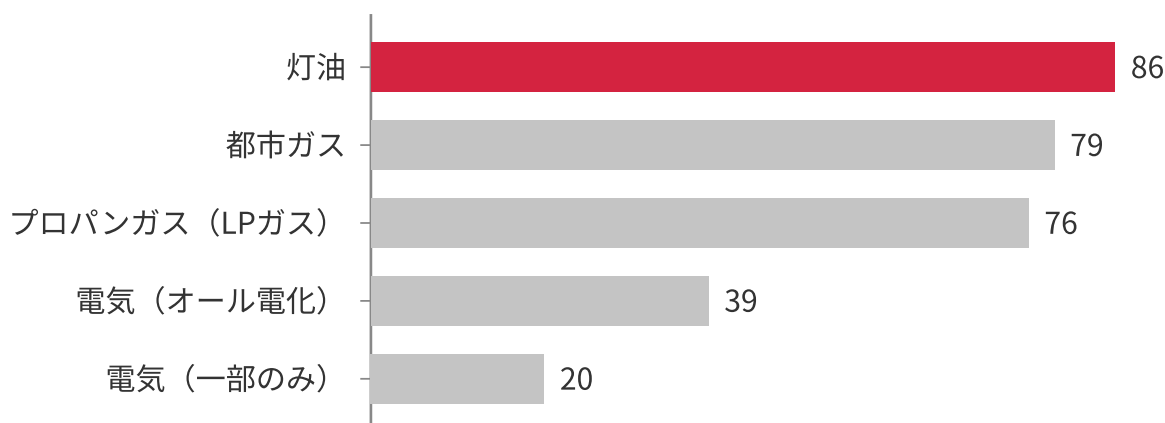
Q3. 居住エリア



(単位：名／道央（札幌市以外）＝小樽・千歳・苫小牧・室蘭・北広島など、道南＝函館・北斗など、道東・内陸＝帯広・北見など、道北＝旭川・稚内・名寄など、道東・沿岸＝釧路・根室・網走など)

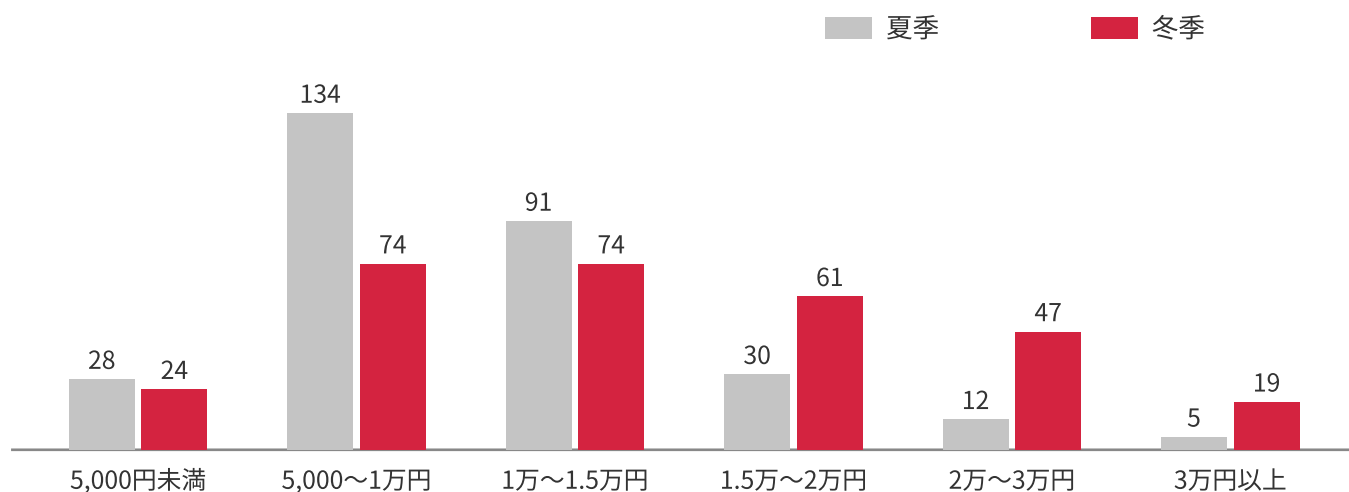
暮らしと電気代の実態

Q7. 住まいの主なエネルギー（暖房・給湯など）



(単位：名／n=300。電気 (一部のみ) = エアコン暖房など一部のみ電気を使用)

Q8・Q9. 1か月あたりの電気代（夏季・冬季）

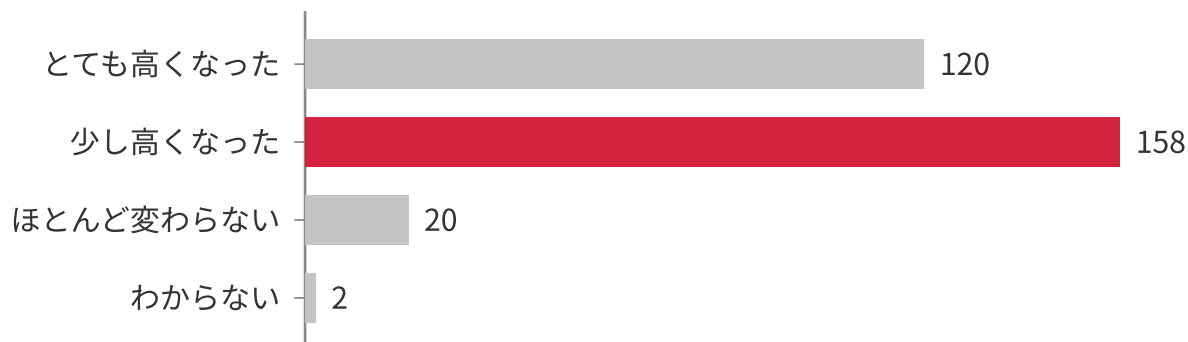


(単位：名／n=300。夏季=6～9月、冬季=12～3月。冬季は「わからない」1名を除く)

調査から見たポイント：冬季の電気代が月2万円以上の世帯は22.0%で、夏季（5.7%）の約3.9倍でした。主なエネルギーは灯油・都市ガス・LPガスで全体の約8割を占めています。

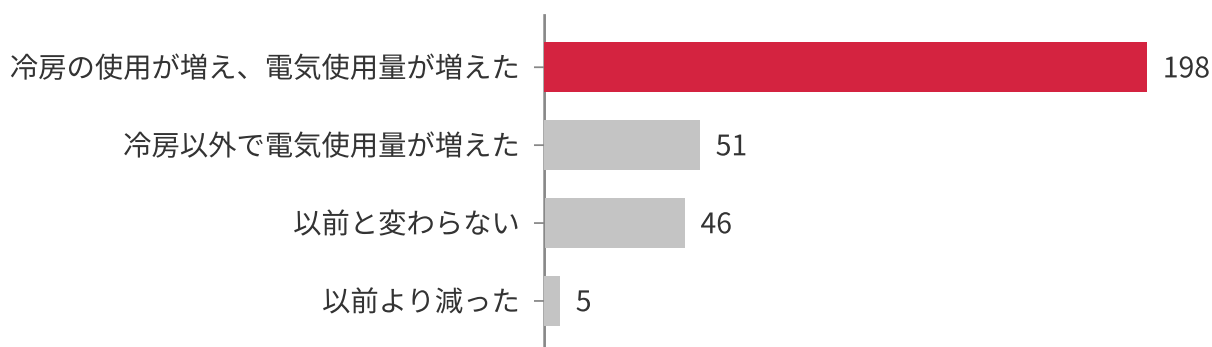
電気代への意識

Q10. 電気代が高くなったと感じるか



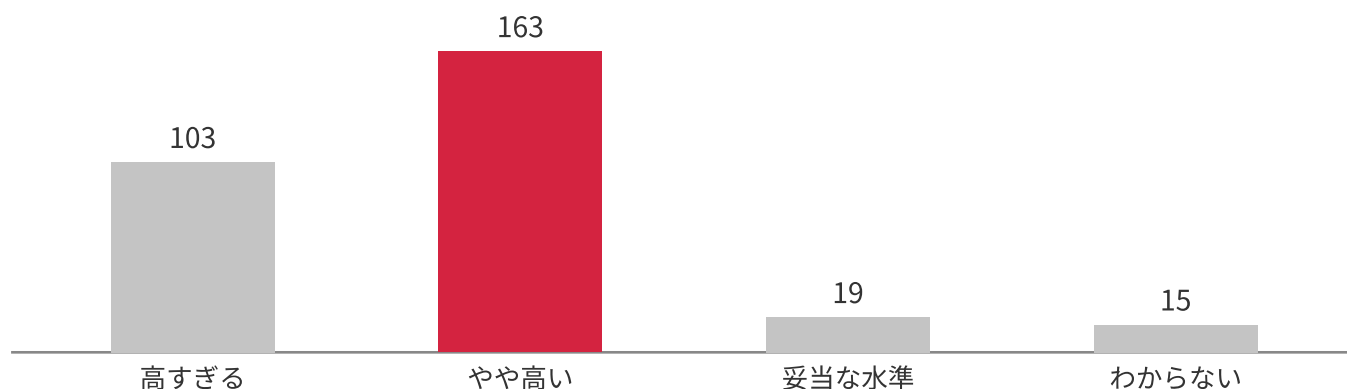
(単位：名／n=300)

Q11. 夏の電気の使い方の変化



(単位：名／n=300)

Q12. 北海道の電気料金の水準をどう感じるか

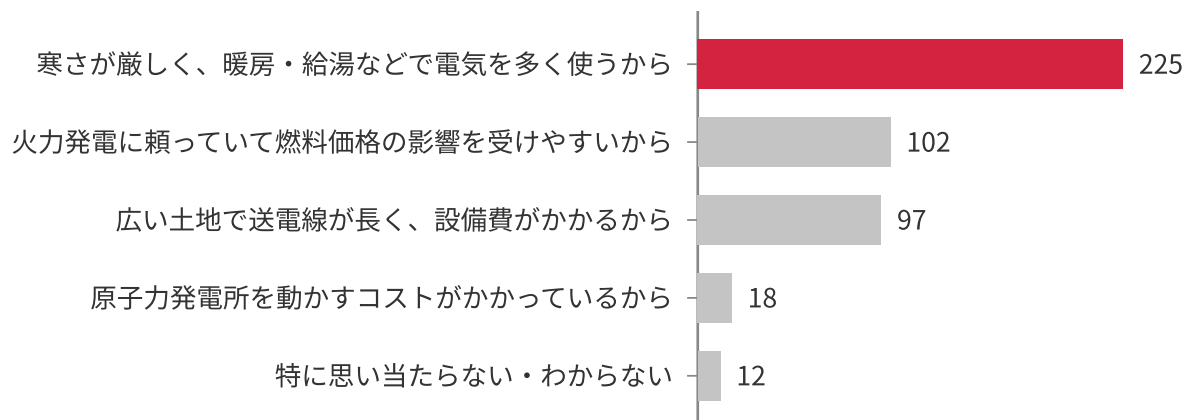


(単位：名／n=300)

調査から見たポイント：92.7%が電気代が「高くなった」と感じており、夏は66.0%が冷房の使用増で電気使用量が増えたと回答しました。北海道の料金水準を「妥当」とした人は6.3%にとどまります。

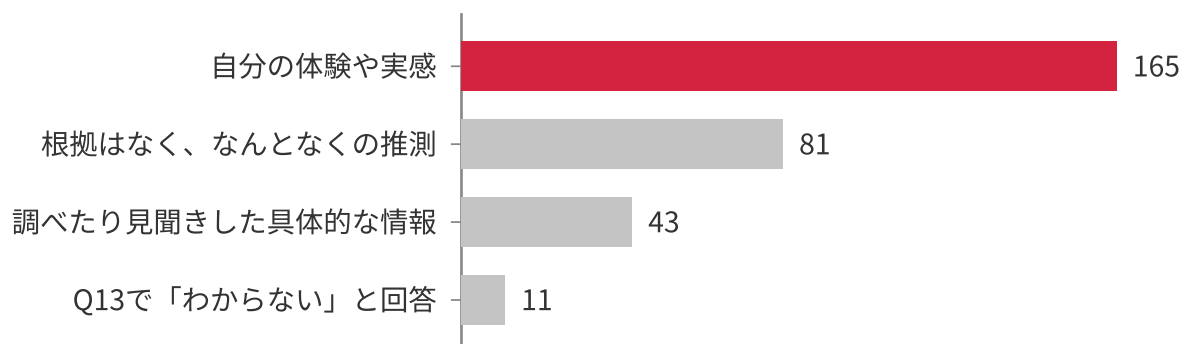
電気代が高い背景をどう見ているか

Q13. 北海道の電気代が高い背景だと思うもの（複数選択）



（単位：名／n=300）

Q14. Q13の回答を選んだ根拠

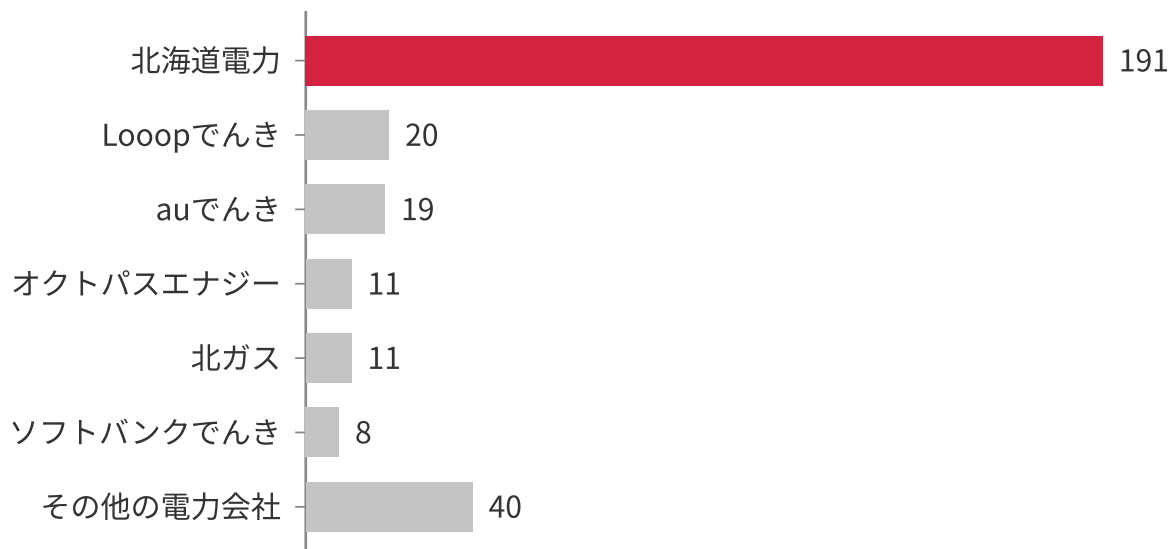


（単位：名／n=300）

調査から見たポイント：背景として最も多かったのは「寒さが厳しく、暖房・給湯などで電気を多く使うから」（75.0%）でした。発電方法や送電コストなど料金の仕組みに関わる理由は3割台にとどまり、回答の根拠は「自分の体験や実感」が55.0%、「調べたり見聞きした具体的な情報」は14.3%でした。

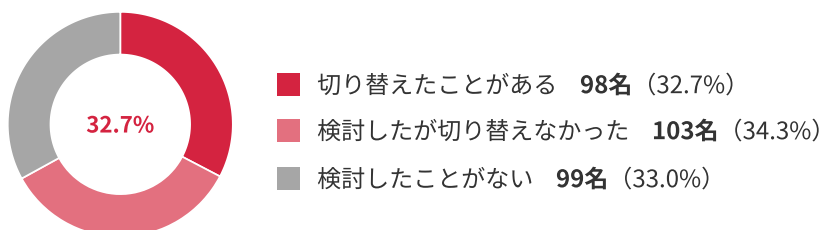
契約先と乗り換えの実態

Q6. 契約している電力会社



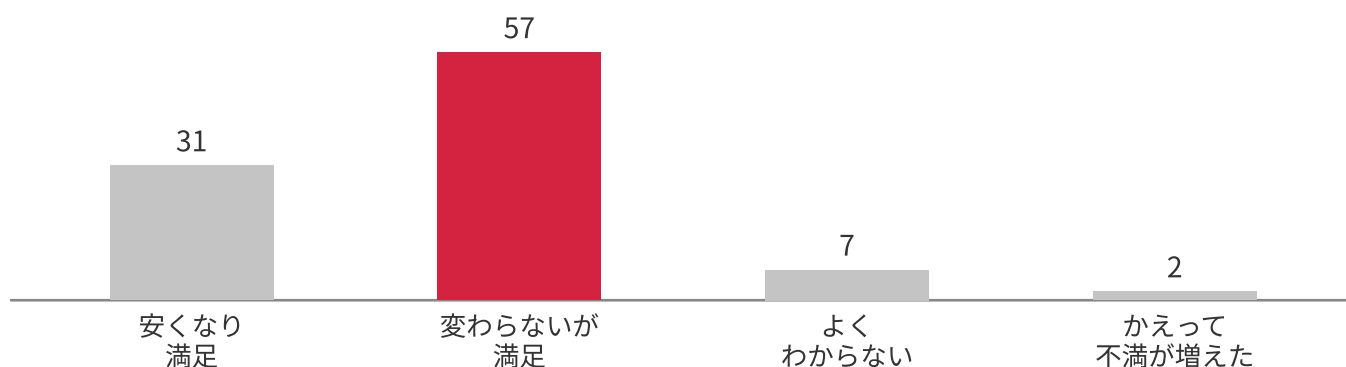
(単位：名／自由回答を統合して集計。その他の電力会社：東京電力4名、オカでん4名、ドコモでんき4名、ENEOSでんき4名、楽天でんき4名ほか計40名)

Q15. 電力会社の乗り換え経験



(n=300。中央の数値は「切り替えたことがある」の割合)

Q16. 乗り換え後の変化

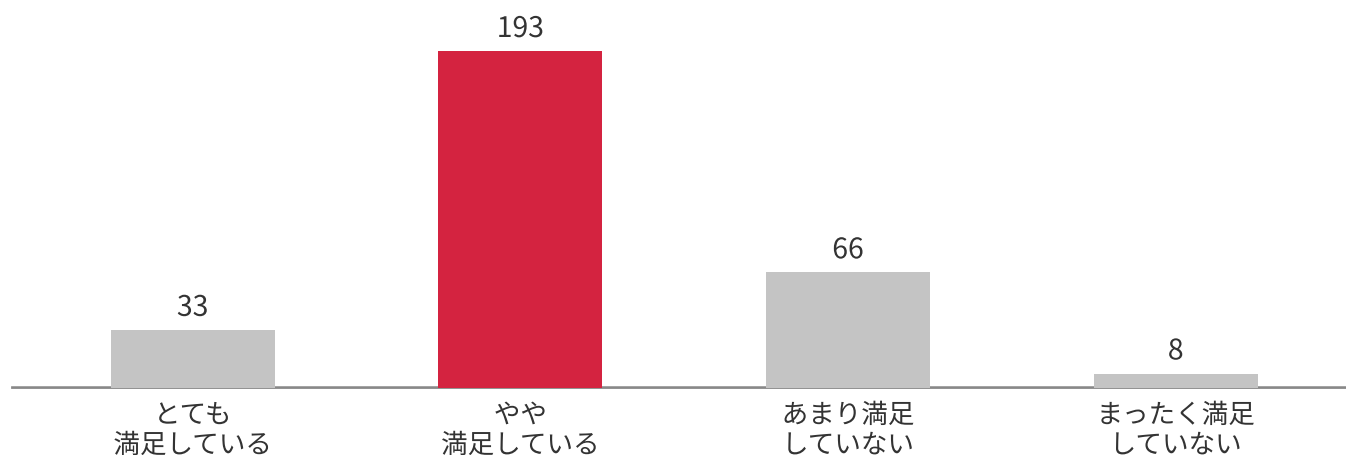


(単位：名／Q15で「切り替えたことがある」と回答し、Q16に回答した97名)

調査から見たポイント：北海道電力以外（新電力等）の契約者は36.3%。乗り換え経験者のうち「安くなり満足」「変わらないが満足」を合わせて90.7%が満足と答え、「かえって不満が増えた」は2名でした。

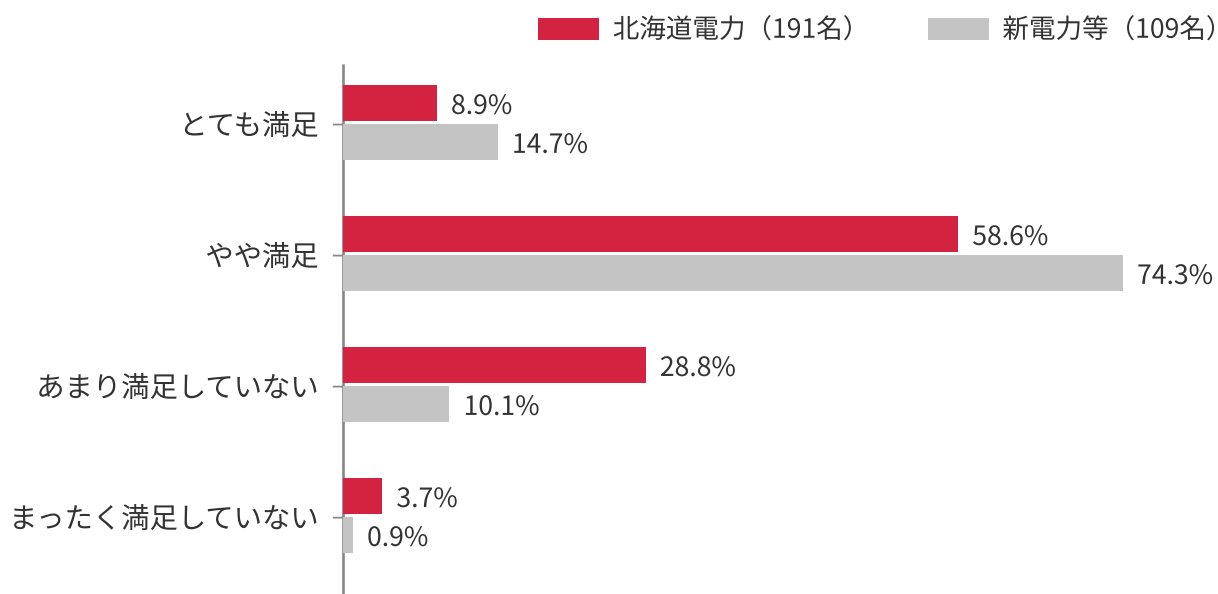
電力会社への満足度

Q19. 契約中の電力会社への満足度（平均2.84点）



（単位：名／n=300。平均点は4点満点：とても満足している＝4点～まったく満足していない＝1点）

契約先別 満足度

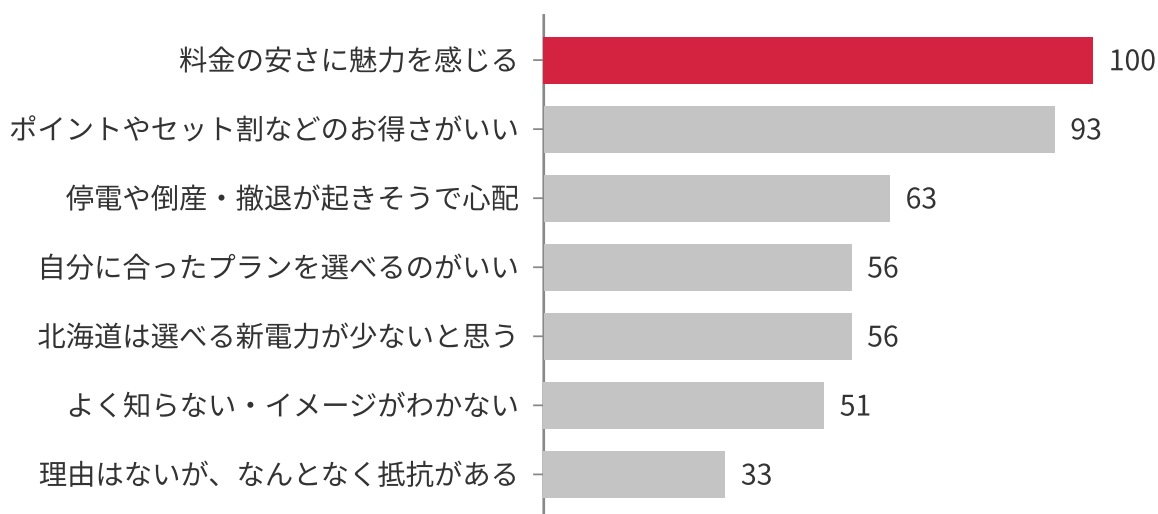


（構成比%）

調査から見た課題：「とても満足」「やや満足」の合計は、新電力等の契約者が89.0%、北海道電力の契約者が67.5%で、21.5ポイントの差がありました。北海道電力の契約者は「あまり満足していない」が28.8%を占めています。

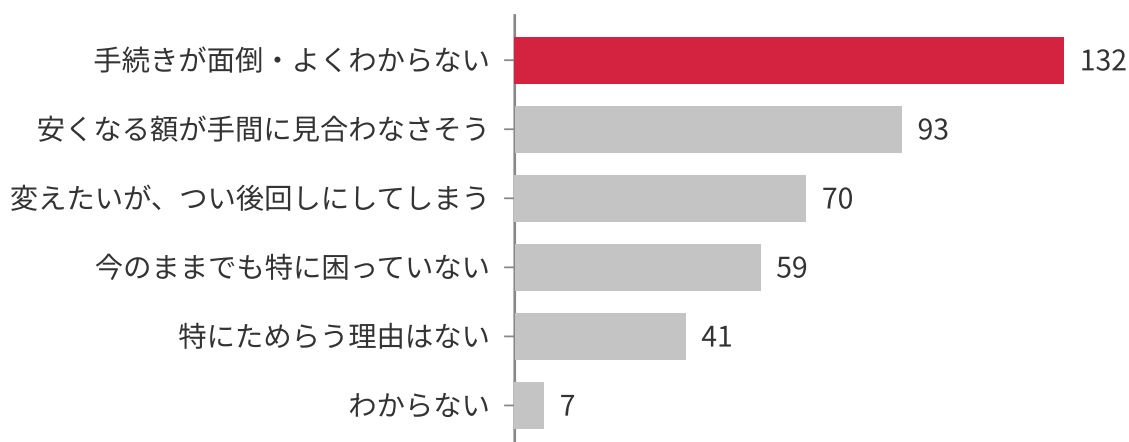
新電力への意識と乗り換えのハードル

Q17. 新電力のイメージ（複数選択）



(単位：名／n=300)

Q18. 乗り換えをためらう理由（複数選択）



(単位：名／n=300)

73.8%

料金が「高すぎる」と答えた人（103名）のうち
乗り換えていない人

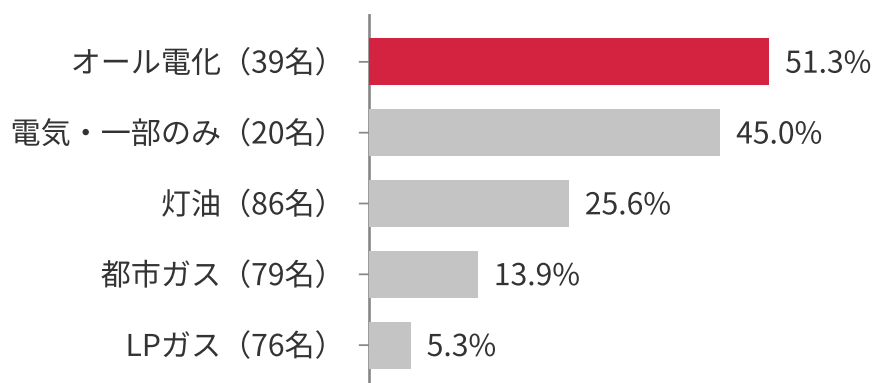
44.0%

乗り換えをためらう理由
「手続きが面倒・よくわからない」

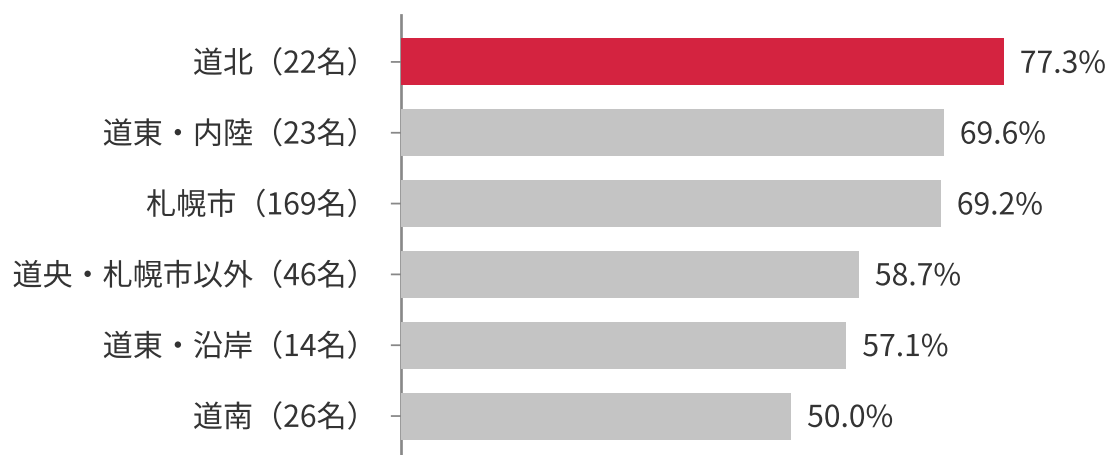
調査から見たポイント：新電力には「料金の安さ」「お得さ」への期待がある一方、「停電や倒産・撤退が心配」も21.0%ありました。料金を高すぎると感じていても、手続きの手間が乗り換えの壁になっていると考えられます。

属性別の傾向

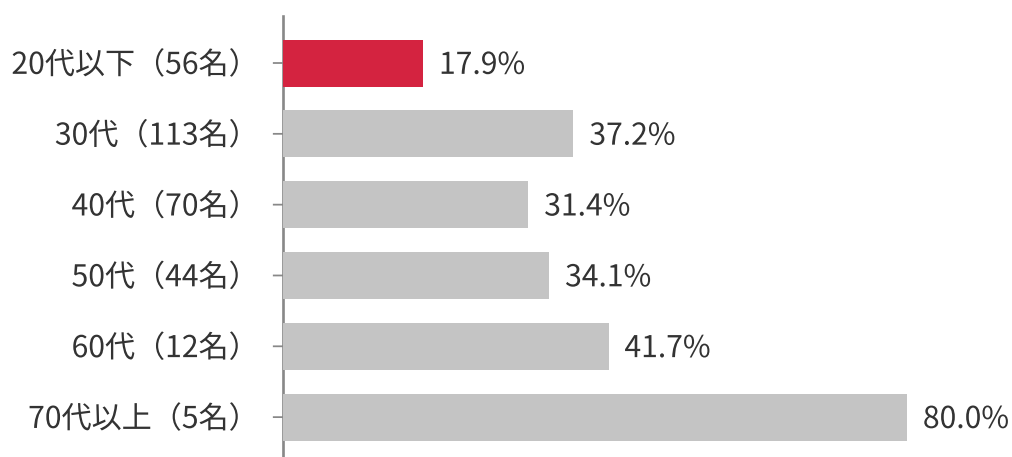
主なエネルギー別 冬季の電気代が月2万円以上の割合



エリア別 夏に冷房で電気使用量が増えた割合



年代別 電力会社を「切り替えたことがある」割合



(60代・70代以上は回答数が少ないため参考値)

調査から見たポイント：オール電化世帯は冬季の電気代が月2万円以上の割合が51.3%で、LPガス世帯(5.3%)の約10倍でした。夏の冷房による電気使用増はどのエリアでも5割以上にのぼり、乗り換え経験は20代以下が17.9%と最も低くなっています。